

復習シート 第六学年 国語

埼玉県学力・学習状況調査



コバトン

組	
番号	
名前	

【話し合いを進める上で司会者の役割を理解する問題】

1 次の文を読んで、後の問題に答えましょう。 **レベル7～9**

山田さんのクラスでは、そうじが時間内に終わらない問題について話し合いをしています。次は、その【話し合いの一部】です。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの一部】

【アンケート結果】

司会：これまでの話し合いで出された意見をまとめると、そうじが時間内に終わらない理由は二つにしばられるようです。一つは話をしてそうじをしない人がいること、もう一つはそうじ用具で遊んでいてそうじをしない人がいることです。それでは、問題を解決するには、どうすればよいと思いますか。

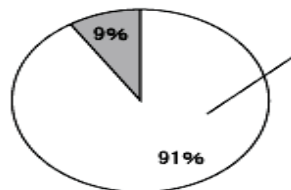
小山：そうじ中は何があっても、絶対に話してはいけない（無言そうじ）をするのがいいと思います。そうすれば、おしゃべりする人がいなくなるし、そうじ用具で遊ぶこともなくなり、そうじが早く終わります。

玉本：たしかに（無言そうじ）をすれば、そうじをしない人は減るかもしれませんが、不便になることも出てくると思います。この資料を見てください。クラスでアンケートを取ったところ、約九割（約）の人がそうじ中に話すと答えています。その中には、そうじの手を止めずに話せる内容や、そうじに必要な内容もあります。絶対に話してはいけないというルールは厳（きび）しすぎると思います。

福田：玉本さんの言うように、絶対に話をしないというのでは厳しすぎるので、「これだけはそうじの時間に話してもよい」という内容を一つ決めて、それ以外の話をしないようにすればよいと思います。

（話し合いは続く）

質問：「あなたはそうじ中に話すことがありますか」

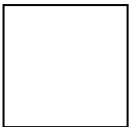


＜どのような内容を話すか＞

- 放課後の遊び
- お客様がいらしたときのあいさつ
- そうじの役割（やくわい）を決める相談
- 今日のできごと
- そうじをしていない人への注意

(1) この司会者の発言の内容を説明したものととして最もふさわしいものを、次の1〜4の中から一つ選びましょう。

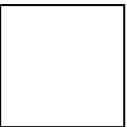
- 1 話し合いの議題に対しての、自分の立場や理由を示しながら、話し合いを進めようとしている。
- 2 みんなから出された意見とこれから話し合う内容を整理して、話し合いを進めようとしている。
- 3 話し合いの中で出された二つの問題のうち一つだけにしぼって、話し合いを進めようとしている。
- 4 話し合いが早く終わるように、あらかじめ司会者が結果を決めてから、話し合いを進めている。



(2) 話し合いを聞いていた山田さんは、小山さんの発言について、質問したい内容をカードにまとめました。カードの内容は、どのようなねらいもっていますか。その説明として最もふさわしいものを、あとの1〜4までの中から一つ選びましょう。

〈無言そうじ〉にすることで、なぜそうじ用具を使って遊ぶ人がいなくなるのか、その二つの関係がよく分からなかったので、もう少し詳しく説明してほしい。

- 1 発言の内容は、どのような考えに基づいているのかを知ろうとしている。
- 2 発言を繰り返すことで、正しく理解できているかを確認しようとしている。
- 3 考えを思いつくまでに、どのような資料を使ったのかを知ろうとしている。
- 4 提案によって、どのような問題を解決できるのかを確認しようとしている。



(3) あなたは福田さんの発言をうけて、そうじの時間に話してもよい内容を提案するにしました。あなたがそうじの時間に話してもよいと思う内容と、なぜその内容を話してもよいと思うのか、その理由を次の**条件1**から**条件3**にしたがって書きましょう。

条件1 二段落^{だんらく}構成で、六行以上、八行以内で書くこと。

条件2 一段落目には、そうじの時間に話してもよいと思う内容を【アンケート結果】のへこのような内容を話すか〽の中から一つ選んで書くこと。

条件3 二段落目には、あなたがその内容について話してもよいと思う理由を具体的に書くこと。

※ 解答は、必ず解答用紙に書きましょう。左の原稿用紙^{げんこうし}は使っても使わなくてもかまいません。

8行 6行

【話し合いの流れから意見を選択する・意図を明確にして話し合いを進める問題】
 ② 次の文を読んで、後の問題に答えましょう。

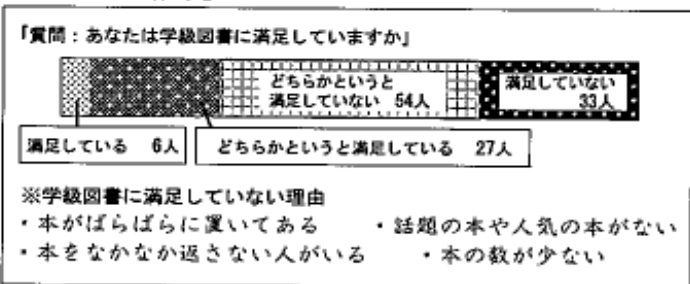
レベル6

田中さんのクラスでは、学級図書の利用について、話し合いをしています。次は、その【話し合いの一部】と話し合いのために学年全員にとった「アンケート結果」です。それらを読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの一部】

司会：今日は、学級図書をよりよく利用してもらうための方法について話し合いたいと思います。何か意見はありますか。
 田中：今のように入がばらばらに置いてあると、本の名前をさがすのが大変で、読みたい気持ちになりません。
 小山：興味がある本をすぐに見つけられるように、整理した方がいいと思います。
 司会：どちらも、本をさがすのが大変だという意見ですね。では、どのように整理するかについて、意見のある人はいますか。
 福田：わたしは「五十音順」にならなければ、読みたい本の題名がすぐに見つかると思います。
 中村：わたしは、図かん、物語、科学読み物などの種類ごとに分けて整理すればいいと思います。
 森本：
 司会：森本さんは、福田さんと中村さんの意見を合わせて、発言してくれたんですね。他にありますか。
 話し合いは続く。

【アンケート結果】



(1) ア で森本さんはどんな発言をしましたか。最もふさわしいものを、次の1〜4の中から一つ選びましょう。

- 1 五十音順にならべると、本を返すときもどの場所にもどしやすいからいいと思います。
- 2 種類ごとにならべると、好きな種類の本を何さつか見つけて選ぶことができていいと思います。
- 3 本の大きさに合わせてならべると、見た目がすっきりするからさがしやすくていいと思います。
- 4 種類ごとに分けて、その中で五十音順にならべると、題名でも種類でもさがせていいと思います。

(2) この司会の話し合いの進め方を説明したものととして最もふさわしいものを、次の1〜4の中から一つ選びましょう。

- 1 話し合いの議題に対しての、自分の立場や理由を示しながら、話し合いを進めている。
- 2 出された意見をそのままくり返してみんなに分かるようにしてから、話し合いを進めている。
- 3 これから話し合う内容やみんなから出された意見を整理しながら、話し合いを進めている。
- 4 話し合いが早く終わるように、あらかじめ結果を決めてから、話し合いを進めている。

【事実と意見を区別して書く問題】

レベル9

(3) 「アンケート結果」には、「本がばらばらに置いてある」以外にも、学級図書に満足していない理由が書かれています。あなたが解決したい問題を、解答用紙の〈学級図書に満足していない理由〉から一つ選びましょう。そして、次の「学級図書の問題を解決するためのヒント」をまどめた〈田中さんのノート〉を読んで、問題を解決する方法をあとの条件1から条件3にしたがって書きましょう。

〈田中さんのノート〉

「学級図書の問題を解決するためのヒント」

- ① 本の学級貸し出し
(市立図書館)
申しこみをする、学級単位で、図書館の本を、一ヶ月間に五十さつまで貸し出してくれる。
- ② 読みたい本アンケート
(市立図書館)
利用者に毎月アンケートをとって、どんな本を読みたいか調べている。
- ③ 貸し出しノート
(学校の図書室)
貸し出しのときには、借りた人の名前と借りた日、返す日を必ず記入するという手続きを行っている。

条件1 二段落構成で、六行以上、九行以内で書くこと。

条件2 一段落目には、どの問題を解決したいのか、〈学級図書に満足していない理由〉から選んで書くこと。

条件3 二段落目には、条件2で選んだ〈学級図書に満足していない理由〉を解決する方法を、〈田中さんのノート〉の「学級図書の問題を解決するためのヒント」の①～③のどれか一つを参考にしておこう。その際、選んだヒントの中の言葉を使って書くこと。

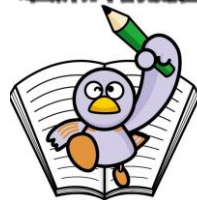
- あなたが解決したい〈学級図書に満足していない理由〉の番号に○をつけましょう。
- ① 話題の本や人気の本がない。
 - ② 本をなかなか返さない人がいる。
 - ③ 本の数が少ない。

9行											6行

模範解答

復習シート 第六学年 国語

埼玉県学力学習状況調査



コバトン

【話し合いを進める上で司会者の役割を理解する問題】

1 次の文を読んで、後の問題に答えましょう。

レベル6～8

山田さんのクラスでは、そうじが時間内に終わらない問題について話し合いをしています。次は、その【話し合いの一部】です。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの一部】

司会：これまでの話し合いで出された意見をまとめると、そうじが時間内に終わらない理由は二つにしばらくは終わります。一つは話をしてそうじをしない人がいること、もう一つはそうじ用具で遊んでいてそうじをしない人がいることです。それでは、問題を解決するには、どうすればよいと思いますか。

小山：そうじ中は何があっても、絶対に話してはいけない（無言そうじ）をするのがいいと思います。そうすれば、おしゃべりする人がいなくなるし、そうじ用具で遊ぶこともなくなり、そうじが早く終わります。

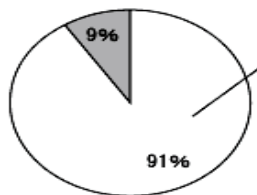
玉本：たしかに（無言そうじ）をすれば、そうじをしない人は減るかもしれませんが、不便になることも出てくると思います。この資料を見てください。クラスでアンケートを取ったところ、約九割の人がそうじ中に話すと答えています。その中には、そうじの手を止めずに話せる内容や、そうじに必要な内容もあります。絶対に話してはいけないというルールは厳しすぎると思います。

福田：玉本さんの言うように、絶対に話をしないというのでは厳しすぎるので、「これだけはそうじの時間に話してもよい」という内容を一つ決めて、それ以外の話をしないようにすればよいと思います。

（話し合いは続く）

【アンケート結果】

質問：「あなたはそうじ中に話すことがありますか」



□話すことがある ■話すことはない

＜どのような内容を話すか＞

- 放課後の遊び
- お客様がいらしたときのあいさつ
- そうじの役割を決める相談
- 今日のできごと
- そうじをしていない人への注意

(1) この司会者の発言の内容を説明したものと最もふさわしいものを、次の1〜4の中から一つ選びましょう。

- 1 話し合いの議題に対しての、自分の立場や理由を示しながら、話し合いを進めようとしている。
- 2 みんなから出された意見とこれから話し合う内容を整理して、話し合いを進めようとしている。
- 3 話し合いの中で出された二つの問題のうち一つだけにしぼって、話し合いを進めようとしている。
- 4 話し合いが早く終わるように、あらかじめ司会者が結果を決めてから、話し合いを進めている。

レベル9

2

(2) 話し合いを聞いていた山田さんは、小山さんの発言について、質問したい内容をカードにまとめました。カードの内容は、どのようなねらいもっていますか。その説明として最もふさわしいものを、あとの1〜4までの中から一つ選びましょう。

〈無言そうじ〉にすることで、なぜそうじ用具を使って遊ぶ人がいなくなるのか、その二つの関係がよく分からなかったので、もう少し詳しく説明してほしい。

- 1 発言の内容は、どのような考えに基づいているのかを知ろうとしている。
- 2 発言を繰り返すことで、正しく理解できているかを確認しようとしている。
- 3 考えを思いつくまでに、どのような資料を使ったのかを知ろうとしている。
- 4 提案によって、どのような問題を解決できるのかを確認しようとしている。

レベル9

1

(3) あなたは福田さんの発言をうけて、そうじの時間に話してもよい内容を提案することにしました。あなたがそうじの時間に話してもよいと思う内容と、なぜその内容を話してもよいと思うのか、その理由を次の条件1から条件3にしたがって書きましょう。

条件1 二段落構成で、六行以上、八行以内で書くこと。

条件2 一段落目には、そうじの時間に話してもよいと思う内容を【アンケート結果】のへどのよ
うな内容を話すかの中から一つ選んで書くこと。

条件3 二段落目には、あなたがその内容について話してもよいと思う理由を具体的に書くこと。

※ 解答は、必ず解答用紙に書きましょう。左の原稿用紙は使っても使わなくてもかまいません。

8行 6行

(平成二十八年度 埼玉県学力・学習状況調査)

わたしは、そうじの役割を決める相談は、話してもよいと思う。
理由は、相談をすることで、同じ人が同じ役割ばかりすることなく、みんながいろいろな役割をすることができる、不公平がなくなるからだ。

【話し合いの流れから意見を選択する・意図を明確にして話し合いを進める問題】
 ② 次の文を読んで、後の問題に答えましょう。

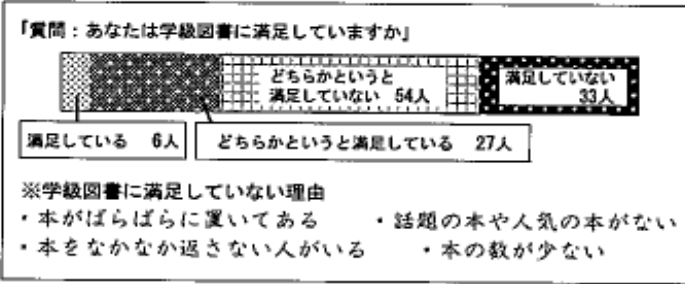
レベル6

田中さんのクラスでは、学級図書の利用について、話し合いをしています。次は、その【話し合いの一部】と話し合いのために学年全員にとった「アンケート結果」です。それらを読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの一部】

司会：今日は、学級図書をよりよく利用してもらうための方法について話し合いたいと思います。何か意見はありますか。
 田中：今のように入がばらばらに置いてあると、本の名前をさがすのが大変で、読みたい気持ちになりません。
 小山：興味がある本をすぐに見つけられるように、整理した方がいいと思います。
 司会：どちらも、本をさがすのが大変だという意見ですね。では、どのように整理するかについて、意見のある人はいますか。
 福田：わたしは「五十音順」になれば、読みたい本の題名がすぐに見つかると思います。
 中村：わたしは、図かん、物語、科学読み物などの種類ごとに分けて整理すればいいと思います。
 森本：
 司会：森本さんは、福田さんと中村さんの意見を合わせて、発言してくれたんですね。他にありますか。
 話し合いは続く。

【アンケート結果】



(1) ア で森本さんはどんな発言をしましたか。最もふさわしいものを、次の1〜4の中から一つ選びましょう。

- 1 五十音順にならべると、本を返すときもどの場所にもどしやすいからいいと思います。
- 2 種類ごとにならべると、好きな種類の本を何さつか見つけて選ぶことができます。
- 3 本の大きさに合わせてならべると、見た目がすっきりするからさがしやすくていいと思います。
- 4 種類ごとに分けて、その中で五十音順にならべると、題名でも種類でもさがせていいと思います。

4

(2) この司会の話し合いの進め方を説明したものととして最もふさわしいものを、次の1〜4の中から一つ選びましょう。

- 1 話し合いの議題に対しての、自分の立場や理由を示しながら、話し合いを進めている。
- 2 出された意見をそのままくり返してみんなに分かるようにしてから、話し合いを進めている。
- 3 これから話し合う内容やみんなから出された意見を整理しながら、話し合いを進めている。
- 4 話し合いが早く終わるように、あらかじめ結果を決めてから、話し合いを進めている。

3

解答例

①を選択

わたしは、話題の本や人気のない本がないことを解決したいと思います。

市立図書館のように、クラスのみんなにアンケートをとって読みたい本を調べれば、話題の本や人気の本を読めるようになると思います。

②を選択

わたしは、本をなかなか返さない人がいるという問題を解決したいです。

学級図書でも本を貸し出すときに、貸出ノートを作って必ず名前を書くようにすれば忘れずに本を返すようになると思います。

③を選択

わたしは、本の数が少ないことを解決したいと思います。

図書館の、本の学級貸し出しを利用すればいいと思います。図書館が本を五十さつまで貸してくれるのなら、本の数が少ないことはなくなると思います。

復習シート 第六学年 国語

埼玉県学力学習状況調査



コトバ

組	番号	名前

【立場や意図を明確にして話し合う問題】

六年生の白石さんの学級では、中学校での学習や生活への準備をするために、中学生にインタビューをすることにしました。インタビューは、「学習」・「部活動」・「学校行事」・「生徒会活動」の四つに分け、グループごとに行います。次は、白石さんのグループが、「部活動」に関する質問の内容を話し合っている様子です。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの様子】 ※①白石（司会）・②白石（司会）・③白石（司会）の発言の内容は、問いと関係があります。

白石（司会）

（部活動に関する質問を出し合っている）
ここで一度、出された質問を順番に確かめてみます。

- 1 部活動には、どのようなものがあるのか。
- 2 部活動は、土曜日と日曜日もあるのか。
- 3 それぞれの部には、何人まで入ることができるのか。
- 4 人数が一番多い部は、何人いるのか。
- 5 部活動は、何時から何時まで行うのか。

①白石（司会）

この五つの質問は、二つのままとまりに分けられそうです。一つは、「部活動の種類と人数に関する質問」で、**A**（ ）・（ ）・（ ）が当てはまります。もう一つは、「部活動の曜日と時間に関する質問」で、**B**（ ）・（ ）が当てはまります。これらの質問はまとめられそうですので、あとで整理することにします。それでいいですか。

全員

白石（司会）

それでは、質問をしたい内容が続けて出してください。
（質問が出しつくされたところで、先生から助言が入る）

先生

この資料を見てください。これは、中学校の生徒会が、「部活動に対する満足度」について、中学二年生と中学三年生を対象に調査した結果をまとめたグラフです。質問を考える際の参考にしてください。先生、ありがとうございます。この資料をもとにすると、中学生にどんな質問ができそうですか。

②白石（司会）

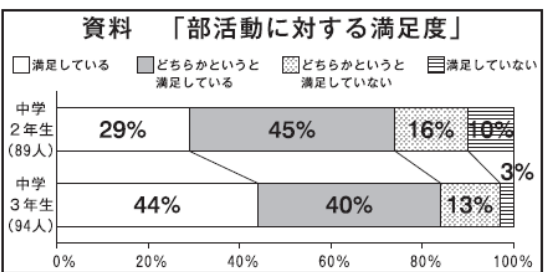
あなたの発表

ア

（発表が続く）

③白石（司会）

これまでに多くの質問を出してもらいましたが、ここで少し考えてもらいたいことがあります。わたしたちのグループは、中学校での部活動に向けて、どのような準備をすればよいかということについて、質問をすることが大切です。この点をふまえて、さらに質問の内容を考えてみてください。
（話し合いが続く）



- 一 ①白石(司会)さんは、これまでに出了された五つの質問を二つのまとりに分けています。
 【話し合ひの様子】の中の1から5までの質問を、

A

に三つ、

B

に二つになるように分け、その番号を書きましよう。

レベル 6〜8

部活動の種類と人数に関する質問 ……

A	()	()	()
---	---	---	---	---	---	---

部活動の曜日と時間に関する質問 ……

B	()	()	()
---	---	---	---	---	---	---

- 二 ②白石(司会)さんは、グループの人たちに、「資料「部活動に対する満足度」をもとにして、中学生に対する質問を出してもらおうとしています。あなたなら、

ア

のところでどのような質問を考えて発表しますか。次の条件に合わせて書きましよう。

レベル 8・9

＜条件＞

- 資料の中の中学二年生の割合と中学三年生の割合を比べてちがうこと、あるいは両方に共通していることを取り上げて、質問をしたいことをはっきりと書くこと。(割合については、「%」と表記してもよい。)
- 六十以上、百字以内にとめて、発表するように書くこと。

※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましよう。
 ※◆の印から書きましよう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましよう。

			◆																

100字 60字

- 三 ③白石(司会)さんの――部の発言は、どのようなねらいをもっていますか。その説明として最もふさわしいものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

レベル 6〜8

- 1 立場のちがう人の発言を求め、公平な話し合ひにしようとしている。
- 2 たがいの考えのちがいを比べて、一つの考えにまとめようとしている。
- 3 話し合ひの目的を確かめ、それに合わせた発言を求めようとしている。
- 4 これまでに出了された考えをまとめごに整理しようとしている。

復習シート 第六学年 国語

埼玉県学力・学習状況調査



コトバ

組

番号

名前

模範解答

【立場や意図を明確にして話し合う問題】

1

六年生の白石さんの学級では、中学校での学習や生活への準備をするために、中学生にインタビューをすることにしました。インタビューは、「学習」・「部活動」・「学校行事」・「生徒会活動」の四つに分け、グループごとに行います。次は、白石さんのグループが、「部活動」に関する質問の内容を話し合っている様子です。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの様子】 ※①白石（司会）・②白石（司会）・③白石（司会）の発言の内容は、問いと関係があります。

白石（司会）

（部活動に関する質問を出し合っている）
ここで一度、出された質問を順番に確かめてみます。

- 1 部活動には、どのようなものがあるのか。
- 2 部活動は、土曜日と日曜日もあるのか。
- 3 それぞれの部には、何人まで入ることができるのか。
- 4 人数が一番多い部は、何人いるのか。
- 5 部活動は、何時から何時まで行うのか。

①白石（司会）

この五つの質問は、二つのままとまりに分けられそうです。一つは、「部活動の種類と人数に関する質問」で、**A**（ ）が当てはまります。もう一つは、「部活動の曜日と時間に関する質問」で、**B**（ ）が当てはまります。これらの質問はまとめられそうですので、あとで整理することにします。それでいいですか。

全員

白石（司会）

それでは、質問をしたい内容が続けて出してください。
（質問が出しつくされたところで、先生から助言が入る）

先生

この資料を見てください。これは、中学校の生徒会が、「部活動に対する満足度」について、中学二年生と中学三年生を対象に調査した結果をまとめたグラフです。質問を考える際の参考にしてください。先生、ありがとうございます。この資料をもとにすると、中学生にどんな質問ができそうですか。

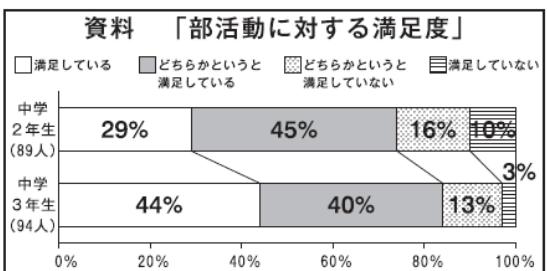
②白石（司会）

あなたの発表

ア

③白石（司会）

（発表が続く）
これまでに多くの質問を出していましたが、ここで少し考えてもらいたいことがあります。



わたしたちのグループは、中学校での部活動に向けて、どのような準備をすればよいかということについて、質問をすることが大切です。この点をふまえて、さらに質問の内容を考えてみてください。
（話し合いが続く）

- 一 ①白石（司会）さんは、これまでに出了された五つの質問を二つのまとまりに分けています。
 【話し合いの様子】の の中の1から5までの質問を、 A に三つ、 B に二つになるように分け、その番号を書きましょう。

レベル6～8

部活動の種類と人数に関する質問 ……

A (1) ・ (3) ・ (4)

部活動の曜日と時間に関する質問 ……

B (2) ・ (5)

- 二 ②白石（司会）さんは、グループの人たちに、資料「部活動に対する満足度」をもとにして、中学生に対する質問を出してもらおうとしています。あなたなら、 ア のところでどのような質問を考えて発表しますか。次の条件に合わせて書きましょう。

レベル8・9

〈条件〉

- 資料の中の中学二年生の割合と中学三年生の割合を比べてちがうこと、あるいは両方に共通していることを取り上げて、質問をしたいことをはっきりと書くこと。（割合については、「%」と表記してもよい。）
- 六十文字以上、百字以内にまとめて、発表するように書くこと。

※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
 ※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

	◆	満	足	し	て	い	る	の	割	合	を	み	る	と	中	学	二	
	年	生	の	二	十	九	%	に	対	し	て	、	中	学	三	年	生	
	よ	り	十	五	%	も	高	く	な	っ	て	い	ま	す	。	そ	の	
	ら	、	中	学	三	年	生	に	「	ど	の	よ	う	な	理	由	で	
	が	高	く	な	る	の	で	す	か	。」	と	質	問	を	し	た	い	
	100																	60

- 三 ③白石（司会）さんの ———— 部の発言は、どのようなねらいをもっていますか。その説明として最もふさわしいものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

レベル6～8

- 1 立場のちがう人の発言を求め、公平な話し合いにしようとしている。
- 2 たがいの考えのちがいを比べて、一つの考えにまとめようとしている。
- ③ 話し合いの目的を確かめ、それに合わせた発言を求めようとしている。
- 4 これまでに出了された考えをまとめりに整理しようとしている。